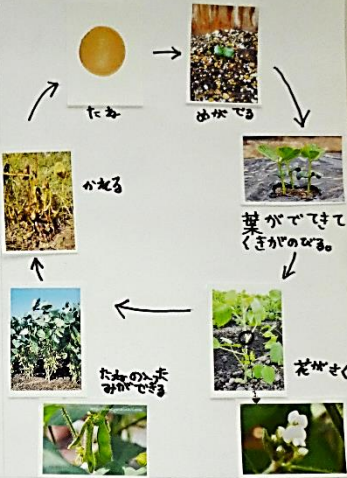


えだまめ新聞

3年3組
田中 莉生

春にエダマメのたねをまきとやく
週間後にはめがしま
す。はじめに2枚の子葉、その後た
さんの葉が出てきて、くまがびんば
のひが高くなります。
夏には花がさき、花の後にこほ
みができます。みの中にはたね
がたくさん入っています
みかきできた後、エダマメは
だんだんかたくなります。



たねがめをだす (とうけん)	子葉のはたらき	ひょうがせおする (とうけん)
<p>ほく物のたねがめを 出すためには、 水、空気、てきとうな 温度がひつようです。</p>	<p>たねの中の子葉には、 でんぷんからつくられて、 しょうがするたための よう分としてつかわれます。</p> <p>子葉 (でんぷんからつくられている)</p>	<p>ほく物かひよくせり ちようするためには、 しょうがにひつようなひかり のほかに、日光とちり がひつようです。</p>

「えだまめ新聞」

えだまめのことをよく知りたかったから、作りました。
えだまめの育ち方のじゅんばんがよく分かった。
えだまめは、アサガオみたいにかれてから実にあたねができたのがわ
かった。